

大阪市内の廃校小学校の芝生化によるコミュニティの再生

NPO法人 ITステーション「市民と建設」近畿支部長 ○森川 勝仁
北天満小学校 芝生倶楽部 事務局 野崎 敬子
北天満小学校 掃除倶楽部 代表 長本 幸三

1. 活動の方針・目的

「都心部で児童数減少により廃校となった小学校地区におけるコミュニティの再生」

廃校後の校庭は雑草が茂りゴミの不法投棄がなされ住民を遠ざけていた。

災害時の避難場所となっていたものの、その重要性を認識されないまま、年々荒廃し、また人間関係においても希薄で、住民同士の接点でさえ消えつつあった。そこで地域のコミュニティを取り戻すために、NPOが呼びかけ、地域の自治会関係者と協働で、廃校の校庭を「芝生化大作戦」と称し芝生化を実現した。芝生の上でイベントを行う毎に、住民の間に年齢を超えた交流が生まれ始めた。やがて地域の高齢者の中からも協力者が現れると、再び廃校に対し多くの人々の心が一つの方向に向かって歩き出す。自分達が通った学校、自分達で植えた芝生、自分達の学校(まち)を守ろうとし始めた。しかしこの地域は戦災を免れた百年以上の歴史を持つ地域は、建物も老朽化し、消防車も入れないような路地が数多く残り、災害時には大きな被害が予想される。

災害時の被害を少しでも軽減できるように 自助、共助を高めるコミュニティづくりが目的である。そのキーワードが「学校の芝生」である。

2. 活動内容

- ・ 住民参加による校庭芝生づくりと維持管理
- ・ 住民参加によるビオトープづくり
- ・ 校庭キャンプ、野外シアター大会、などの異世代交流のためのイベント開催
- ・ 地域幼稚園、スポーツクラブ、野外音楽祭への校庭解放
- ・ 防災セミナー 震災訓練(起震車体験 非常食の試食会 放水訓練など)
- ・ 防災時の避難場所としての点検、清掃

3. 過去の失敗事例

- ・ 施設管理者との調整不足
ビオトープづくりに際し、施設管理者(教育委員会)から池の設置に対し安全面から理解を得るのに時間を要した。

4. 今後の課題等

- ・ 若者の町づくりへの参加
- ・ 高齢者の防災意識向上
- ・ 校舎の開放・利用に向けた管理者との調整
- ・ 「小学校の校庭開放」の課題(市民スポーツ広場づくり)
- ・ 「住民参加」から「行政参加」への意識改革

大阪市内の廃校小学校の 芝生化によるコミュニティの再生



2009.3.16

NPO法人 ITステーション「市民と建設」近畿支部
旧北天満小学校 芝生倶楽部・掃除倶楽部

旧北天満小学校の概要

場所：大阪市北区浪花町(天神橋筋6丁目)

開校：明治43年5月

閉校：平成16年3月

閉校後は 年1回の夏祭りのみ開催され、地域コミュニティも薄れていった。



活動内容 ①

住民参加の芝生校庭づくり～廃校校舎の管理
(1000m²を20万円で芝生に)



活動内容 ②

子どもたちへ「芝生広場」の提供



活動内容 ③

異世代交流のためのイベント開催



活動内容 ④

地域防災・減災への取り組み(共助の再生)



活動内容 ⑤

市民参加の校庭芝生化の提案・指導



苦労した点：施設管理者との調整

課題：* 若者のまちづくりへの参加度

* 防災意識を向上するには・・・

* 校庭開放に向けた関係者との調整

* 市民広場づくりの必要性

* 「市民参加」から「行政参加」へ

